

光沢織物の設計指標に関する研究

分野 繊維（製織技術）

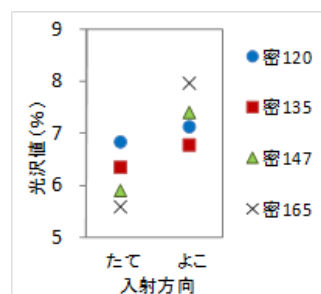
テーマ名 光沢織物の設計指標に関する研究

目的 光沢のある織物では、目的とする光沢を得るまでに何度も試作を繰り返すことがある。そこで、織物設計の段階から、必要な光沢感を推測できるように、織物の規格と光沢特性の関係を明らかにする。

成果 たて糸に、ポリエステル糸2種（ブライト、セミダル）よこ糸にポリエステル7種（ブライト、セミダル、異型、撚500t/m、撚1,000t/m、撚1,500t/m、仮撚加工糸）、織物組織3種、よこ糸密度3種を組み合わせた織物を試作し、それぞれについて光沢度を測定した（糸の繊度はすべて84dtex36f）。

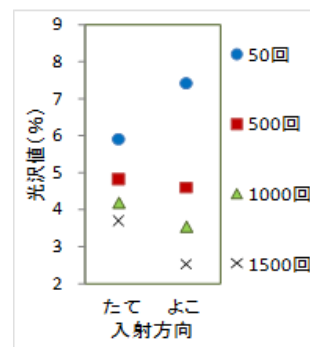
光沢度の測定は、測定はJIS Z8741 鏡面光沢度測定法に準拠し、光沢色差測定器 VG-S80（日本電色製）を用いた。

試作した織物を目視で順序付けをした結果と、測定した光沢値の数値の順序が一致し、あいまいだった織物の光沢感を数値で評価できることが分かった。



よこ糸密度と光沢値

[朱子、密度は鯨寸(3.79 cm)あたり]



よこ糸撚数と光沢値

[朱子]

担当者 岩下美和（専門分野：繊維評価）／繊維研究G
増田敦士（専門分野：繊維物性・製織技術）／化学・繊維部